平成２７年度第７回　　資料１

平成２７年度企画提案型協働事業　各提案の審査経過及び結果の付帯意見

提案番号	事業名	団体名	事業内容	積算金額	関連部署	第一次審査／書類審査	第二次審査／公開審査会（8/21）	第三次審査／公開審査会（10/9）
1	道作古墳群歴史広場の維持管理事業	ＮＰＯ法人小林住みよいまちづくり会	道作古墳群歴史広場の草刈り、樹木管理、広場の清掃等年間の維持管理を実施しながら、文化財普及イベントを行い、市民が安全に憩えるふれあいの場とする。	1,098,000円	生涯学習課	可	可（可11・否0）	適（適8,否0）
2	不要になったおもちゃの回収及びリサイクル利用	印西おもちゃの病院	一般家庭等で不要になったおもちゃを回収し、修理清掃等を行いリサイクル品として甦らせ、子どもが利用する児童館等の公共施設に寄贈して有効利用する。	420,000円	子育て支援課	可	否（可4・否6）	―
3	竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業	ＮＰＯ法人エコネットちば	竹袋調整池と周辺地域において、四季の花による花畑の整備、定期的な草刈、日々のごみ清掃等を年間を通して実施し、快適な環境保全と景観維持を行う。	3,060,000円	都市整備課	可	可（可11・否0）	適（適8,否0）
4	印西市木下地区歴史講座	木下まち育て塾	吉岡まちかど博物館や地域の公共施設等を会場に、木下河岸および利根川の舟運の歴史を学習する「寺小屋吉岡」の開催、また夏季及び冬季に市内外の水運に関わる施設見学などを含めた特別公開講座を開催する。	361,360円	生涯学習課	可	可（可9・否2）	適（適8,否0）

平成２７年度企画提案型協働事業（第２次審査）
道作古墳群歴史広場の維持管理事業
提案に関する委員会付帯意見

１　協働事業の実施主体として活動の意義や経費の考え方を整理し、事業計画にわかりやすく示せるよう努めてください。
２　道作古墳群を文化財として保全活用する意義について、市民の理解が深まるよう、市の関連部署と連携して広報の充実に努めてください。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

協働への期待

・文化財の維持管理のために必要な事業だと思います。地域の住民の皆さんが携わることで、よい環境が維持できることを期待します。
・文化財の保護は市としても重要な施策であり、引き続き御努力よろしくお願いします。
・道作古墳群の維持管理事業は、子ども達や多くの印西市民が身近に歴史を感じたり、又、魅力ある憩いの歴史広場に変えていける、そんな広がりを、この活動には感じられる。
・印西市古墳群の維持を歴史広場として市民にも親しまれる場所として管理する事は、協働事業の主旨に合致していると考えます。
・新たに周辺道路管理を提案され、大変だとは思いますが、がんばって下さい。
・先週歴史広場を見に行ってきました。広場の草刈、整備はよくされていました。周辺の散策コースが少し整備されれば魅力ある市民の広場になると思います。

広報充実

・広報活動に関しては、市と十分に協力し、内容の充実を図ると共に、広く市民に広報できるよう努力して頂きたい。
・市との役割分担についての検討、協議が必要と思われる。特に広報活動については、協力して実施していただきたい。
・広場の案内板を工夫して下さい。団体独自のわかりやすい案内板を作って下さい。

コストの根拠

・事業計画上、Cost は重要な Factor です。あくまでも提案者の意識で計画を立案することが、原則だと思って頂きたいと思います。
・協働のメリット、コストダウンのメリット、他の事業者との比較なども行い、より論理的に説明してもらいたい。

事業計画のブラッシュアップ

・協働事業として妥当であると判断するが、事業計画、体制には疑問が残る。
・道作古墳群の維持管理事業とイベントは「小林鯉のぼり大会」と「古墳の春の見学会」に絞った方が良い。イベントが多過ぎ、事業の焦点が絞り切れていないし、今後、このままたどさらに予算がふくらむリスクを感じる。
・市の道作古墳群整備基本計画と一体化した活動か。
・ＮＰＯとしての、この事業に関する将来的展望は。
・各イベントの参加者数は。

企画提案型協働事業　道作古墳群歴史広場の維持管理事業
平成２７年度第３次審査　委員会総合意見

１　文化財の保全活用によるまちづくりに貢献している素晴らしい事業です。郷土の歴史・文化の新たな発信拠点となるよう、提案者と市の取り組みに期待します。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

団体のネットワーク　良

・人的なネットワークがあるので、そのネットワークも使って市民にもこの場所とこの広場のよさが伝わっていけばよいなと思いました。
・会として多彩な事業を行っていることが、人材ボランティアの確保につながっていると思います。

計画の変化　良

・第２次審査の時に比べ、今回の提案書は経費（コスト）に対する苦労がしのばれ、コストに対する意識に前向きさが感じられ、グッドである。
・第２次審査での「協働の機会提案書」では、枯枝やひこばえ、落葉の発生量が多く（又イベントも多く）、すでに予算超過になっているとのことだったが、今回の見積り積算金額は前回より２，０００円削られていて、妥当である。
・無償労働力を明確に計算し、有償分と分かりやすく比較できている点は好ましい。

ＰＲにロマンを

・子供達に夢とロマンを与えるようなＰＲの工夫をしてみては。
・古墳周辺の当時の様子、例えばどんな人の古墳か、どんな豪族がこの地を支配していたのか、マンガ風の創作冊子を作り、広報活動の一環としてみては。

広報の更なる充実

・市担当課は、道作古墳群について広報に努め、市民皆の財産となるように期待します。
・訪れる人が市内だけに限らず市外への広報もよろしくお願いします。
・道作古墳で検索すると、小林すみよいまちづくり会のページが上位でヒットする。こうした Web 上での地道な情報発信も大変重要なので、継続して、力を入れていただきたい。

市全体への拡がり

・この事業をとおして、歴史的な意義のある道作古墳群が市民により愛着を持たれるようにと期待します。
・他の事業と絡めて当該事業を印西市全体に拡大していく process を是非考えて下さい。
・文化財保全活動の必要性について、意義を認めます。理解者をふやして、ますます活性化していただく様に期待しています。

古墳…難しい

・古墳の説明が学術的、かつ無機質で親しみが持てない。

時間大事に

・時間内にプレゼンを終らせるように努力して頂きたい。

がんばれ

・古墳…事業を核としつつ、前向きで明るく新しいことにチャレンジして下さい。
・地道な努力が認められ協働することで安全な憩いの場を維持できるものと思います。大変ですが今後もよろしくお願い致します。